

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	安全でおいしい水の安定供給	決算書 P134	(款)4 衛生費 (項)3 上水道及び簡易水道費 (目)1 上水道費
コード	04-05-14	作成者	水道課長 杉本 成彦 (tel 66-9792)

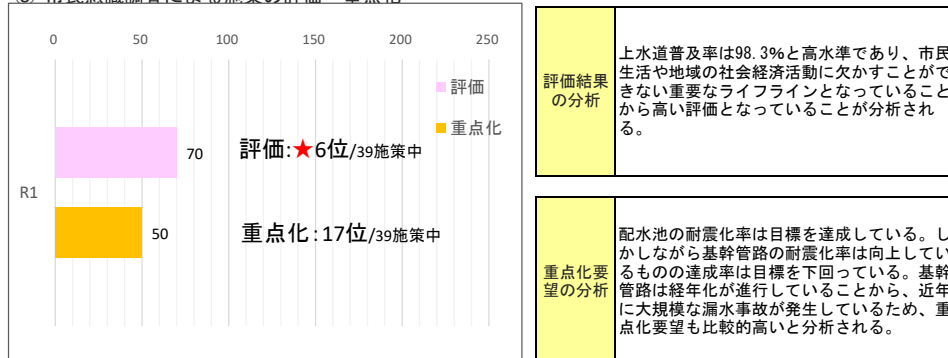
この施策の アピール ポイント	豊富な水源から清浄でおいしい水を安定してお届けしています。
-----------------------	-------------------------------

この施策の 平成30年度の 施政方針	安全でおいしい水の安定供給につきましては、基幹管路の更新整備を進めるため、山田原配水管の更新工事を行ってまいります。また、諸島へ安定給水を行うために、鹿久居島配水池の整備を行ってまいります。 その他の施設につきましても点検、調査等を通じ、適切な更新を行い、長寿命化を図ってまいります。
--------------------------	---

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想 (大項目)	04 土台となる政策「安全・安心」
	基本計画 (中項目)	05 安全に暮らせるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	水道水は、備前市民の日常生活、地域の産業経済活動において必要不可欠なものです。安全で安定した水を供給するために、厳格な水質管理、施設の計画的な更新、広範囲な水道網の適切な維持管理を行い、生活環境の改善や公衆衛生の向上を図っています。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	人口減少や利用者の節水意識の浸透などから水需要の伸びは見込めず、厳しい経営状況にあります。その中で、老朽化した多くの管路や施設の更新とともに、大規模地震などへの対策が求められており、収支のバランスを保ちながら計画的に施設の更新と整備を進めていかなければなりません。あわせて、水質管理体制の強化など、質の向上に取り組むことで、付加価値の高い市民サービスを実現していくことが求められています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営基盤の強化 (専門知識・技術の継承・外部委託の推進) ・ 安心・快適な給水の確保 (水源水質の保護・保全・監視、水質管理体制の強化) ・ 安定給水・災害対策の充実 (老朽管路の計画的な更新、基幹管路・施設や配水池の耐震化) ・ サービス水準の向上 (お客様が便利で利用しやすい窓口の実現) ・ 環境対策の強化 (有収率の向上による省エネルギー、資源の有効活用) 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

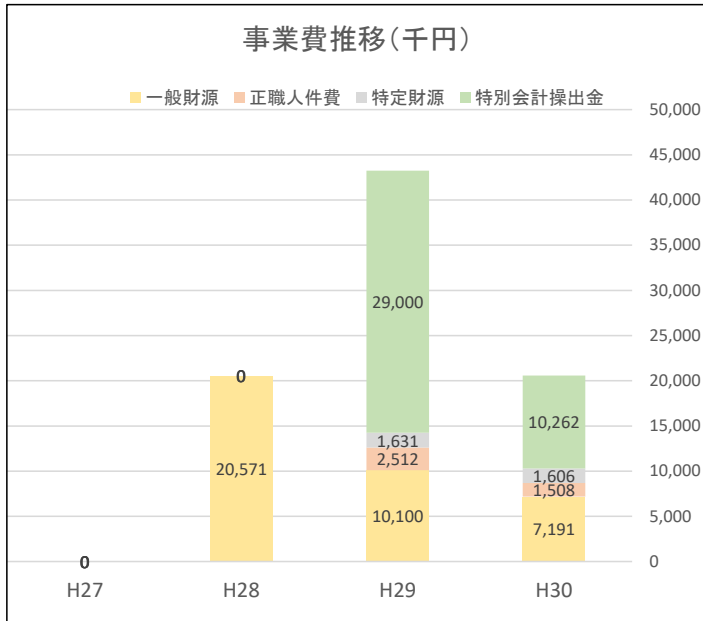
施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H28	H29	H30			R2	R4
成果指標 基幹管路の耐震化率	目標	%	25.0	41.6	41.6	基幹管路延長に対する耐震性を有する管路延長の割合 (%) 【(耐震性のある管路延長÷基幹管路延長)×100】	R2	41.6
	実績	%	29.4	28.1	30.4		R4	50.0
	達成率	%	117.6	67.5	73.1			
	ベンチマーク		37.2	38.7	38.7		全国平均 (厚生労働省調査)	—
参考指標 配水池の耐震化率	目標	%	50.0	50.0	50.0	耐震化した配水池容量の全配水池容量に対する割合 (%) 【(耐震化した配水池容量÷全配水池容量)×100】	R2	50.0
	実績	%	37.0	37.0	86.9		R4	60.0
	達成率	%	74.0	74.0	173.8			
	ベンチマーク		51.5	53.3	53.3		全国平均 (厚生労働省調査)	—
参考指標 年間有収率	目標	%	92.0	92.0	92.0	平均の料金徴収の対象となる量 (有収水量) の配水量に対する割合 (%) 【(有収水量÷配水量)×100】	R2	92.0
	実績	%	80.5	77.6	75.5		R4	95.0
	達成率	%	87.5	84.3	82.1			
	ベンチマーク		85.3	85.4	85.4		水道事業経営指標 (類似団体平均)	—
参考指標 料金収納率	目標	%	99.0	99.0	99.0	水道料金の調定額に占める収納額の割合 (%) 【(収納額÷調定額)×100】	R2	99.0
	実績	%	99.0	99.1	99.1		R4	99.0
	達成率	%	100.0	100.1	100.1			
	ベンチマーク		—	—	—			

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
産業観光課	企業誘致事業、企業立地促進事業	企業誘致により水需要の拡大が図れます。
下水道課	水道事業、下水道事業	水道料金、下水道使用料を合わせて徴収することにより事務の効率化と徴収率の向上が図れます。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	有収率の向上は、無効水量を減少させることで達成でき、動力費等を低減させることで、効率的な運営が図れます。施設の耐震化を図ることは、安全で安定した水の供給に寄与します。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	4	水道はライフラインとして重要なものであり、水質管理、施設の長寿命化を図りながらの更新・耐震化、収納率の向上を図ることは、妥当である。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	年間有収率が前年度より減少している原因は、海底管の漏水修繕に期間を要したことで無効水量が増加したものである。冬季の凍結防止の周知の徹底、継続的な漏水調査、老朽化診断により、適切な管路更新を行っていただくことで、無効水量を削減し、目標値に近づけるよう努める。	
進行年度 (H31年度) の取組内容 (課題解決状況)		老朽化診断の結果、優先度が高い山田原のφ300管路の更新をH30年度より3年計画で行い、有収率の向上を図る。また電力供給の入札を行うことで維持管理コストの縮減をすすめる。	
翌年度 (R2年度) の取組目標		H31年度に引き続き山田原のφ300管路の更新を行う。また香登地区の新幹線側道に布設しているφ600管路の更新を検討する。	
二次評価者コメント		水の安定供給のため、基幹管路の耐震化及び更新を重点化し、老朽化調査及び漏水調査の結果をもとに、優先順位を決め、計画的に進めてください。また、施設は、国から求められているクリプト対策とあわせて浄水場の更新を引き続き進めてください。	基本施策への貢献度 4 やや高い



事業費 0.2 億円
 特定財源 0.0 億円

